

関東学生会の概要と 学生会の活動

関東学生会は、東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬、山梨の全8ブロックから構成されており、45の会員校が参加している。2013年2月現在の学生員会員数は1201名であり、本会内の各支部の学生会の中で規模が最も大きい。関東学生会では、年間を通じ、3月に学生員卒業研究発表講演会、6月に会員校会、11月に全体交流会を開催している。また、年3回、学生員からの話題提供として、「JSME-dia」を発行している。さらに、2012年度は委員長校と幹事校による意見交換会が開催された。

以下に主な行事と活動状況について紹介する。

1. 全体交流会

学生が企業や研究所を見学し、最先端の技術や研究実態に触れるとともに、技術者・研究者との交流を図ることを目的として、1996年より毎年実施されており、2012年度で17回目を迎えた。2012年度は11月19日に公益財団法人 鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研、東京都国分寺市）で開催された（図1）。

見学会では、6自由度振動試験装置を用いたダンプの性能試験や大型振動試験装置を用いた台車の水平加振試験を見学することができた。

技術講演会では、「パンタグラフの空力音低減技術」と「鉄道車両の振動制御技術」の2件の講演があった。車両走行時における騒音問題として、集電系における騒音であるアーク音や空力音の説明や車両の高速化に伴う乗り心地の評価、乗り心地確保のためのアクティブサスペンションなど、学生の興味を引く内容であった。

懇親会では、鉄道総研の研究者と学生との懇談が行われ、鉄道総研の研究内容など学生が活発に質問していたのが印象的であった。

2. 委員長校・幹事校意見交換会

関東学生会初めての行事として、委員長校と幹事校の学生員における意見



図1 全体交流会（鉄道総研）



図2 卒業研究発表講演会 BPA 表彰式

交換会が2012年12月8日に首都大学東京 南大沢キャンパスで開催された。委員長および東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬の各ブロックにおける幹事、学生会担当幹事等、合計13名で実施された。各ブロックや大学での活動状況、全体交流会の見学場所、学生総会、今後の活動について活発な意見交換が行われた。2012年度の活動としては、2013年6月に開催される会員校会において、委員長校および幹事校が自分の研究や大学の紹介をして、学生員どうしの交流を深める場あるいは引き継ぎをする場を設けることにした。

学生は意見をたくさん持っているが、学会は敷居が高いイメージがあり、学生の意見を汲みあげる場がもっと必要ではないかと感じた。

3. 学生員卒業研究発表講演会

学部学生の1年間の研究成果を発表する機会として、毎年3月に関東

支部総会講演会と同時開催される。今年度は2013年3月15日に首都大学東京 南大沢キャンパスにおいて、第52回学生員卒業研究発表講演会が開催された。学生員による320件の研究発表が、1セッション5件で17室に分かれて行われた。卒業研究発表ではすべての発表について各室3名の審査員により優れた口頭発表を行った学生員に対してBPA (Best Presentation Award) が贈られる。今年度は33名が受賞した。表彰式は懇親会で開催され、賞状と副賞が贈呈された（図2）。

4. 「メカライフの世界」展

小中学生をはじめ一般の方々に機械工学に対する興味と理解を深めてもらうことを目的として毎年開催している。2012年度は5校で企画された（表1）。

〔渡邊鉄也 埼玉大学大学院理工学研究科〕

表1 2012年度「メカライフの世界」展

学校名	テーマ	開催日
横浜国立大学	社会に貢献する機械工学—「ものづくり」への招待—	8月5～6日
東京工業大学	メカの世界2012	10月6～7日
群馬大学	わくわくどきどき、メカニカル！2012	10月13～14日
東京工業高等専門学校	木材や紙などを使って、空を飛ぶメカを作って遊ぼう！	10月27～28日
日本大学	ボーイング787で使われているCFRPでサンドイッチを作ろう	11月3日